

2026年5月27日
株式会社ガスパル九州

Than九号2号機の除幕式を開催 総勢37名のガスパルグループ社員およびそのご家族を乗せ係留飛行を実施

LPガスを中核に保安最優先でエネルギー事業を展開するガスパルグループの(株)ガスパル九州（本社：福岡県、代表取締役社長：野坂茂樹）は、これまで宮崎大学気球部によって飛行していたThan九号（サンキュー号）の新たな球皮（温めた空気です浮力を生み出す袋）を購入し、5月23日（土）除幕式を開催しました。

ガスパル九州熱気球プロジェクトは、LPガスを燃料として飛行する熱気球を通じて、社員の連帯感を高めるとともにステークホルダーの皆さまに明るい話題を届けたいと考え、2018年より開始。「夢を、カタチに」を合言葉に、社員の連帯感と地元九州への地域貢献のシンボルとしてThan九号が誕生しました。Than九号は、佐賀国際バルーンフェスタをはじめとする各種大会への参加や、宮崎市内小学校での6年生対象の係留飛行による思い出作りなど、各地で笑顔を作り出し活気を届けてきました。

今回、Than九号が飛行時間が限界を迎えるにあたり、新球皮を購入しThan九号2号機と命名。5月23日（土）に行われた除幕式には、九州エリアから多くの社員が駆け付け、その姿を目に焼き付けました。Than九号2号機も引き続き宮崎大学気球部によって飛行します。

今後も各地の大会やイベント参加によって、より多くの方の笑顔を作り出し、明るい話題を届けていきます。



Than九号2号機

■ Than九号2号機除幕式概要

日時：5月23日（土）

会場：〒840-0864 佐賀県佐賀市嘉瀬町 嘉瀬川河川敷

参加者：ガスパルグループ社員・ご家族37名、宮崎大学気球部13名

■ Than九号2号機の今後の予定

Than九号2号機は、これまでと変わらず宮崎大学気球部により飛行。佐賀国際バルーンフェスタをはじめとする各種大会や、宮崎市内小学校での係留飛行などのイベントへ参加します。

Gaspalは、「人の生きる」と共に歩むエネルギー企業へ